

輝け！ 宮っ子「あいさつ、そうじ、発表そして笑顔 一人ひとりを大切にする宮っ子」

<宮原小のめざす児童像>

- (健) いきいきとし夢を持つ子
 - ・健康で健やかなのびのびと明るい心身
- (根) 粘り強くがんばる子
 - ・根気強く粘り強い学習や仕事
- (信) 互いに信頼し思いやりのある子
 - ・互いに約束を守り信頼し合える生活



児童一人ひとりが大切にされる宮原小をめざして

本校では、自分の大切さとともに他の人の大切さも認めることができる児童、人とつながる力を持った児童を育てる取組みを進めています。

毎年、新学期に運営委員会の児童が、「やさしい宮っ子」宣言を行い、人の嫌がることをせず、お互いを思いやるやさしい宮っ子を目指そうと呼びかけます。なかま委員会では、1年から6年の縦割り班を編成して、「にこにこ給食」や「にこにこ遊び」を実施しています。



あいさつ運動一斉行動の日 ～毎月15日(あいさつ運動・ノーテレビノーゲームデー)～

氷川町ではコミュニティ・スクールの取組みの一環として、子どもたちが安心して暮らせる町づくりを目的として、学校・家庭・地域・行政が一体となり「あいさつ運動一斉行動の日」として毎月15日の朝に実践しています。また、PTAや児童会もこの運動と連携した、「ノーテレビ・ノーゲームデー」や「あいさつ運動」に取り組んでいます。



<全学年> 戦争の悲惨さや平和の大切さと尊さを学ぶ平和集会

戦争の悲惨さや、平和の大切さと尊さを学び合い、平和な社会を築いていこうとする態度を育てるために毎年開催しています。今年は、低学年は「とびうおのぼうやはびょうきです」、高学年は「青い目の人形」を題材に学び、平和の意義について深く考えました。



<5年生> 水俣に学ぶ肥後っ子教室・集団宿泊教室（水俣市・芦北町）

5年生は、1泊2日（9/5～6）で水俣病や環境に関する学習をする「水俣に学ぶ肥後っ子教室」および「集団宿泊教室」に出かけました。水俣市の環境センターを中心に、水俣病の語り部さんの講話や展示の見学、環境学習を行いました。その後、あしきた青少年の家で、ナイトゲームやドッジビーなどを行い、みんなで力を合わせることの大切さを学びました。



<6年生> 修学旅行（長崎県・佐賀県）

6年生は、長崎市へ1泊2日（9/19～20）の修学旅行に出かけました。1日目は、長崎市の平和公園の見学や原爆の被害に遭われた語り部の方の講話などを通して、平和の尊さをしっかりと学びました。2日目は、ハウステンボスを体験・見学したり、佐賀市の宇宙科学館で宇宙科学の歴史や技術の進歩について学んだりしました。旅行後は、タブレットなどを使って、2日間で学んだことや考えたことをまとめ、保護者や地域の皆さんに発信する予定です。



<祝> 読み聞かせボランティア団体「おはなしさくらんぼ」 「小さな親切」実行章 を受賞



6月25日（火）の熊本新聞朝刊に氷川町の読み聞かせボランティア団体「おはなしさくらんぼ」の活動記事が掲載されました。

「おはなしさくらんぼ」の皆さんには、毎週来校して読み聞かせを行っていただき、その中には宮原小学校の学校運営協議会委員4人が含まれています。

この新聞記事によって、たくさんの人にこのボランティア活動を周知していただきました。その中で、公益社団法人「小さな親切」運動本部の目にとまり、「小さな親切」実行章を贈呈していただきました。

熊本県事務局から代表の三原桂子さん（宮原小学校運営協議会委員）に賞状が渡されました。宮原小の宝物がまた1つ増えました。

